

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

平成30年5月18日

平成29年度UNIRITAユーザシンポジウム研究発表で、
当社従業員所属グループが審査員特別賞を受賞しました。

UNIRITAユーザ会(*1)主催の第35回UNIRITAユーザシンポジウムの研究発表(平成30年3月1日~3日開催)にて、テクニカルサポート二部IT基盤管理二課の深谷雄太職員が所属するグループが審査員特別賞を受賞しました。

(*1) UNIRITAユーザ会は1977年(昭和52年)に、ユーザ相互およびユーザと(株)ユニリタとの技術交流・情報交流を図るために設立。旧「Beaconユーザ会」(平成28年4月1日より「UNIRITAユーザ会」へ名称変更)。

■研究テーマ

機械学習は運用部門を救えるか

運用保守部門のAI活用指針
～業務の効率化を目指して～

■発表内容

機械学習による運用業務の改善効果について、機械学習導入事例の調査や実証実験(*2)を通じて、各運用業務へ機械学習を適用した場合の評価方法を研究し、発表いたしました。

(*2) 実証実験: 問い合わせ対応・エラー検知の運用業務につき、機械学習ツール構築を実施し、業務改善効果について実験。

■受賞理由

実証実験で裏付けた運用業務への適合性評価表の有用性が評価されました。

■受賞者のコメント

月に1、2回グループワークを実施し、数回ファシリテータ(*3)を担当しました。幅広い役職層が参加したグループワークであり、議論の展開および収束の仕方や、意見するメンバーに偏りがでないようメンバー全員に意見を促す方法などを学ぶ良い機会となりました。新しい技術(IOTなど)について勉強しているメンバーもあり、業務をこなすだけでなく自分から新たな情報を得ようとする姿勢は自身のスキルアップにおいて大切なことであると再認識いたしました。

(*3) 会議やプロジェクトなどの集団活動がスムーズに、また成果が上がるように支援することを専門的に担当する役割。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101